地域連携室“あざれあ”便り　第４８号

梅の花ほころぶ季節となりました。日頃より地域連携室「あざれあ」の活動に対し、ご理解ご協力いただき厚く御礼申し上げます。
今月は、１月のあざれあの活動についてご報告いたします。

在宅療養ミニ講座　「八本松下組」

平成30年最初の地域の皆さん向け「ミニ講座」を、1月16日（火）に八本松下組集会所で行いました。

今回は、訪問看護師さんとケアマネジャーさん（医師会居宅介護支援事業所所長）が講師となり、仕事の役割や内容、利用した場合の費用負担などについて、地域の皆さんに分かり易く説明してくださいました。

「訪問看護師さんとヘルパーさんの仕事はどう違いますか？」「最初に介護保険の相談をするのは誰が良いですか？」など、質問もたくさん出て、活気あふれるミニ講座となりました。今後も継続予定です。

色々入っています！

訪問看護師さんのカバンの中

広がる在宅医療・ＡＣＰ

「私の心づもり」記入中

1月18日（木）は、板城地域センターで「広がる在宅医療・ＡＣＰ」と題して藤原内科医院　藤原雅親先生にご講演いただきました。地域の皆さんに交じって、西条南地域担当の社会福祉協議会や包括支援センター職員の参加もあり、住民と多職種一人ひとりが、自分らしく「どう生き、逝くか」、ＡＣＰ（アドバンス・ケア・プランニング）とは何かについて考える２時間となりました。

当日は「私の心づもり」に記入する時間あり、皆さん熱心に考え、机に向かっておられました。

今後もこのような機会を数多く持つことで、在宅医療は地域に根付いていくように思います。

「教えて！」シリーズ第３弾　完成

「桃・太郎一家奮闘記」

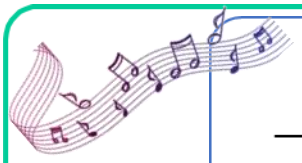
教えて！高齢者の「住まい」のこと

「教えて！在宅療養」「教えて！訪問看護」に続く地域住民向けのリーフレット「教えて！高齢者の「住まい」のこと」が完成しました。

高齢者の生活の場「住まい」について、選び方や利用する場合の要件、サービス内容、費用など、知りたい内容をギュギュっと盛り込みました。ご活用頂ければ幸いです。

桃・太郎の「教えて！」シリーズは、住み慣れた地域で安心して生活する地域の皆さんと、支援者のためのリーフレットです。追加配布をご希望の場合は、地域連携室あざれあまでお気軽にご連絡ください。お問い合わせ、お待ちしています！

東広島市市民公開講座　近づく！



究極の町医者　地域を駆ける

ー生活を支える医療を目指してー

■日時：３月１０日（土）14：00～16：00　（開場13：30）

■場所：東広島市市民文化センター３階　アザレアホール

＊是非ご参加ください。

■第１部　基調講演

「在宅で最期まで過ごす選択肢ー町医者が支える在宅医療」

鈴木　央さん　　鈴木内科医院（東京都大田区）院長

■第２部　シンポジウム/ディスカッション

「在宅医療　患者・家族の生活を支えるキラリ人たち」

診療報酬に関するＱ＆Ａ

＊診療報酬検討委員会に質問のあった内容を、ポイントを押さえて解説しています。日頃の診療報酬業務にお役立てください。

＊求む！診療報酬検討委員　（あざれあ　にお問い合わせください）

診療報酬検討委員を大募集しています。診療報酬の算定で困っていることはありませんか？そんな時一緒に考える仲間がいるのは心強いものです。共に悩み、共に学ぶ。診療報酬検討委員会は、前向きに仕事に向き合っている医療事務の皆さんのための集まりです。